

日本政府に対し「核兵器禁止条約」への署名・批准を求める意見書の採択を求める請願

〔請願趣旨〕

2020年8月、広島、長崎で被爆75年となる平和祈念式典が行われ、広島、長崎両市長が平和宣言を行いました。

核兵器禁止要求運動は、1950年のストックホルムアピール署名運動を皮切りに世界に広がり、日本でも草の根署名活動が取り組まれ、639万筆が集められました。この署名が、朝鮮戦争での核兵器使用を阻止する力になりました。

1954年のビキニ環礁での水爆実験（日本のマグロ漁船1,000隻が被爆し、第五福竜丸の久保山愛吉さんが死亡）後には3千万筆の署名が全国各地から寄せられ、1955年の第1回世界原水爆禁止大会の開催につながりました。

第4回原水禁大会で、決議文「県、市町村が独自の核武装禁止宣言を行う」が採択され、半田市議会は、1958年（昭和33年）に【原水爆実験禁止並びに核兵器持込み反対核非武装宣言】を世界で初めて行いました。半田市は決議にしたがい、原水爆禁止運動を積極的に援助し、1993年（平成5年）には、半田市が【非核・平和都市宣言】を議決しています。

2017年、「核兵器禁止条約」が国連で122カ国の賛成を得て採択されました。

「核兵器禁止条約」の批准国は2020年10月24日、国連軍縮週間の初日に50か国となりました。これにより、同条約は2021年1月22日に発効しました。

私たちは、日本政府こそが世界で唯一の戦争被爆国として、「核兵器禁止条約」に一日も早く署名・批准をし、核兵器のない平和な世界の実現のため、主導的役割を果たすことを望むものです。

核兵器廃絶に対し、先進的な歴史を持っておられる貴議会において、日本政府に対する意見書を採択していただきたく、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年2月12日

半田市議会議長 沢 田 清 殿

半田市乙川八幡町一丁目24番地の4  
熊 谷 弘

半田市宮本町五丁目305番地の9  
河 合 聡 子